

第25回東京大学工学部・工学系研究科技術発表会報告



実行委員長 内海 正文(航空宇宙工学専攻)

第25回東京大学工学部・工学系研究科技術発表会を9月30日(木)に開催しました。前工学系研究科長 保立和夫先生の特別講演「工学分野における教育システムと国際化について」をはじめ、口頭発表が11件、ポスター発表・作品展示で22件の発表が行われ、118名(工学系研究科技術職員68名、情報理工技術職員1名、学内者31名、学外者18名)の方々にご参加いただき、活発な質疑が行われ、有意義な発表会となりました。今回ポスター発表は個人発表、研究基盤部門、教育基盤部門、共通技術部門や、専門技術グループ等の発表に取り組みました。

発表者から選考を行い、研究科長賞をシステム創成学専攻・細野米市氏「大気圧PIXA 用電荷増幅器の開発」が受賞しました。又、技術部長賞は安全管理室・大久保徹氏「X線装置からの漏洩X線の測定」が受賞しました。ポスター賞団体部門は研究基盤部門の航空宇宙工学専攻「航空宇宙工学専攻技術職員の技術と装置(Ⅱ)」、ポスター賞個人部門をシステム創成学専攻・吉田二郎氏「人間の表情の機械的表現法」が受賞しました。

研究科長賞・技術部長賞の選考方法は近山技術部長の他委嘱した5名の選考委員により、技術報告の原稿、当日の発表をもとに行われました。

ポスター賞は学内外の参加者に採点して頂き投票によって選出しました。

又、報告集「技術報告」では「口頭発表原稿」、「ポスター発表原稿」、「原稿発表のみ」も含め57件の発表を頂きました、発表申込者の皆様に感謝いたします。

開会後の挨拶では研究科長および技術部長より技術職員への更なる期待をこめた温かいメッセージをいただきました。教員、事務部の皆様のご理解やご支援、技術職員の皆様のご協力によって、無事技術発表会を開催できたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

若干ながらも技術職員の参加者数や発表申込数が増加しましたが、昨年より取り入れて頂いたポスター発表における部門発表や新たに組織された専門技術グループ等の発表が「個人発表では面倒だから」から「皆で出そう」に変わってきているのではないかと推察します。

最後に至らない委員長を支えて下さりました、実行委員会の皆様に心から御礼申し上げます、有難うございました。